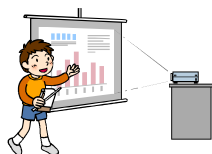


# 今、国語科で目指したい授業

—特に大切にしたい3つのこと—

## 1 言語活動の充実



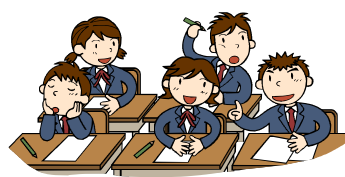
- 1単位時間におけるばらばらな言語活動を位置付けることではありません。「単元を貫く」「柱となる」「具体的な」言語活動を単元に位置付けることが大切です。
- 教材を通して身に付けた力と、言語活動で活用する力との関わりを、常に意識しながら授業を行う必要があります。

## 2 自分の考えを持たせる



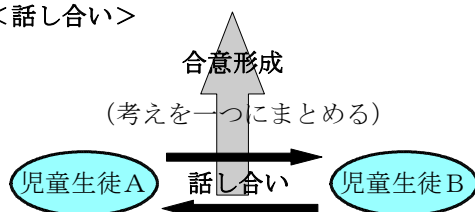
- どの領域の学習でも、児童生徒一人一人が自分の考えを持つことが授業の出発点となります。特に「読むこと」の学習では、内容を正確に読み取った上で自分の考えを明らかにすることが求められています。これはPISA型読解力の「熟考・論述」にあたります。
- ノートは自分の考えの足跡です。始めの考えと話し合いを通じた最終的な考えを書かせることが必要です。そして、この2つを比較することで「自己の学びの高まり」を実感させることができます。学年の発達段階に応じて取り入れてください。また、児童生徒が書いた自分の考えを、単元の評価規準をもとに正しく評価していくことになります。

## 3 「話し合い」と「伝え合い」を区別する



- 「話し合い」は集団としての考えを一つにまとめあげるためのものです。一方「伝え合い」は一人一人の考えを深めたり高めたり広げたりするためのものです。学習の目的に応じ、区別して使い分けることが大切です。
- 下の図のようなイメージになります。

<話し合い>



<伝え合い>

